

目標の設定及び達成に向けた考え方について(区作成)

【住吉区】(受託者等:大阪市住吉区社会福祉協議会)

区の考え方等	
1 地域課題・ニーズ等の状況について	地活協の認知度がまだまだ低く、地活協の設立趣旨や理念、準行政的機能や総意形成機能をもつ地域唯一の団体であることが、十分に理解されていない。認知度を上げるために広報機能を強化する必要がある。 地活協の自律に向けて、自主財源の確保が課題である。CB/SBをはじめ、自主財源確保に向けた取組を進めていく必要がある。 会計処理に関しては地域差があり、各地域での説明会を実施するなど地域ごとに検討する必要がある。 地域役員の高齢化・固定化に伴う担い手不足解消、構成団体間の連携促進をはかるため話し合いの場や交流の場を定着させる必要がある。
2 当事業によりめざす状態	防災、防犯など安全・安心なまちづくりにかかる取組み及び地域福祉、子育て支援、地域コミュニティづくりなどその他地域特性に即した地域課題の解決に向けた取組が自律的に進められている状態。 【現在の状況】 ・達成状況:概ね4割程度達成 説明:状況5「取組状態の総合評価と自律度の状況」において、自律度Aが全12地域計84項目中32項目(30年度中間評価結果)
3 当事業の目標	
(1) 中長期の目標	平成31年度までに、形成済の地域活動協議会についてステージ2のすべての項目達成。 【現在の状況】 ・達成 0地域 未達成12地域 上記2めざす状態にあると感じる地域活動協議会構成団体の割合 90% 【現在の状況】 ・達成状況:未達成 説明:59.7%(そう思う18.4%+ややそう思う41.3% ※無回答除く) (29年度期末評価アンケート結果) 上記2めざす状態にあると感じる区民の割合 40% 【現在の状況】 あなたは、お住いの地域の地域活動協議会は、防災、防犯など安心・安全なまちづくりにかかる取組み及び 地域福祉、子育て支援、地域コミュニティづくりなどその地域特性に即した地域課題の解決に向けた取組み が自律的に進められていると感じますか。(Q22) ・達成状況:未達成 ・説明:36.8%(大いに感じる1.0% + ある程度そう感じる8.8% + どちらかというそう感じる27.0%) (平成29年度第3回住吉区民意識調査結果)

		区の考え方等	
(2) 平成30年度目標			
ア 「自律的運営に向けた地域活動協議会の取組(イメージ)」並びに「地域活動協議会の取組状態の各区における自律度の評価について	形成済の全地域活動協議会について、ステージ1の項目を全て達成の他、取組状態の総合評価「総合◎」かつ自律度の指標「A」を7項目中3項目以上達成。	【現在の状況】 ・達成:6地域 未達成:6地域	
イ 利用者アンケート調査			
(1) 地域活動協議会構成団体を対象としたアンケート	まちづくりセンター等の支援について、満足していると感じている地域活動協議会構成団体の割合 75%以上	【現在の状況】 (全般的に)まちづくりセンター等の支援について満足していますか。(問1) ・達成状況:達成 説明:75.0%(満足している22.8%+ある程度満足している52.2% ※無回答除く) (29年度期末評価アンケート結果)	
	上記2めざす状態にあると感じる地域活動協議会構成団体の割合 80%以上	【現在の状況】 まちづくりセンターの支援により、皆さんの地域において、自律的な地域運営に取り組めるようになってきていると思いますか。(問4) ・達成状況:未達成 説明:59.7%(そう思う18.4%+ややそう思う41.3% ※無回答除く) (29年度期末評価アンケート結果)	
(2) 地域住民を対象としたアンケート	地域活動協議会を知っている区民の割合 35%以上	【現在の状況】 あなたは、この「地域活動協議会」のことを知っていますか。(問13) 19.3%(①活動していることを知っている 19.3%) (市民局 平成29年度区民アンケート調査結果)	
	上記2めざす状態にあると感じる区民の割合 35%以上	【現在の状況】 あなたは、お住いの地域の地域活動協議会は、防災、防犯など安心・安全なまちづくりにかかる取組み及び 地域福祉、子育て支援、地域コミュニティづくりなどその地域特性に即した地域課題の解決に向けた取組み が自律的に進められていると感じますか。(Q22) 36.8%(大いに感じる1.0% + ある程度そう感じる8.8% + どちらかというそう感じる27.0%) (平成29年度第3回住吉区民意識調査結果)	

	区の考え方等
4 地域活動協議会の状況についての分析 上記2・3の【現在の状況】及び評価資料等を踏まえ分析	・地活協の認知度はまだまだ低く、地活協の設立趣旨や理念、準行政的機能や総意形成機能をもつ地域唯一の団体であることがあまり理解されていない。 ・地域活動協議会の継続的・安定的な事業実施に必要な不可欠である自主財源の確保については、一部地域の実施にとどまっている。 ・会計処理においては、マニュアル等を作成したうえで地域活動協議会役員や総括会計担当者へ説明会等を開催し周知を図っているが、各事業の会計担当者まで浸透しきれていない。 ・NPOや企業といった多様な活動主体との継続的な連携やネットワークが少なく、新たな人材や担い手の確保の観点から、つながりを拡充・強化する必要がある。
5 当事業による支援の方針	地域活動協議会の認知度アップ 自主財源の確保 会計事務の適正な執行 話し合いの場の定着化・定例化
6 目標達成に向けた戦略	・地域活動協議会の認知度アップ 地域活動協議会が、様々な活動団体や地域住民の多様で複合的な地域課題等を集約し、施策や事業に反映させる団体となるためには、広く認知されることが必要である。そのため、広報活動の支援と区内全12地活協においてホームページ・フェイスブックなどの開設、運営を支援する。 ・自主財源の確保 地域活動協議会の継続的・安定的な事業実施に必要な不可欠であるため、CB／SB受託のための支援や、助成金やイベント実施などの他の方法による自主財源の確保について情報提供等を行う。 ・会計事務の適正な執行 会計担当者の事務負担を軽減するため、仮精算の実施を促すための説明会を地域ごとに行う。 ・話し合いの場の定着化・定例化 地域の課題を抽出し、解決していく上で必要であり、様々な立場の人同士のつながりづくりにも役立つため、ワークショップ・交流会等の開催支援と、事業実施におけるは、反省会等を実施する。